

働きさんの働きがい、生きがい、喜びのある毎日のために

重症化を回避・予防する
早期発見・早期治療



健康リスクを回避・予防する
健康生活の見直し

- 不調を感じたら、放置せずに相談・受診をしましょう。
⇒firstcall、ダスキンところとからだの健康相談をご利用ください。
- 定期健康診断、二次健診、特定保健指導などの保健事業に参加しましょう。
⇒詳しくは、P4～12、P18～20をご確認ください。
- kencomなどを利用して、健康な生活リズムを身につけましょう。
⇒詳しくは、P14～17をご確認ください。

一人ひとりの行動変容により
医療費が下がると
(医療費・高額医療費・傷病手当金など)

たとえば

**本人が支払う保険料を
下げることができる**

や

高額療養費で自己負担額を
超えたときに支払われる
付加給付の額を増やすことができる

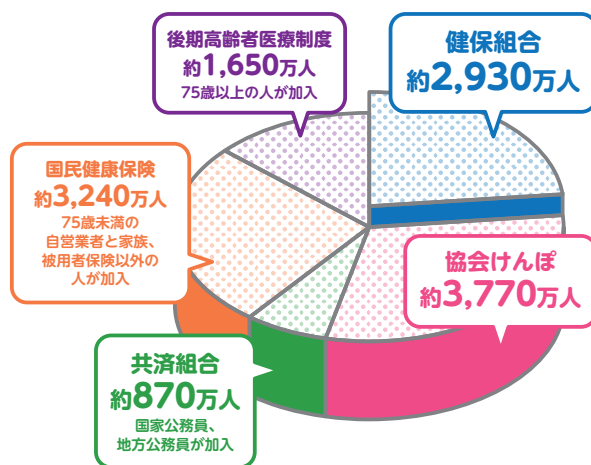
喜びのタネまき活動を
支えているのは、
**家族ぐるみでの
働きさんの健康と管理**

ダスキン健康保険組合は、
ダスキン創業者 鈴木清一によって、
独自の健康保険組合^{※1}として
設立しました。



ダスキン創業者 鈴木清一
(ダスキン健康保険組合
初代理事長)

現在の日本の医療保険制度は、すべての国民が何らかの公的医療保険に加入し、お互いの医療費を支え合う「国民皆保険制度^{※2}」です。



資料：厚生労働省保険局調査課
[平成28年度健康保険・船員保険事業年報]等

● 健康保険組合の長所

事業所や組合員の実情に合わせた運営ができる

- ・被保険者や被扶養者の年齢構成、男女比、疾病の動向などの実態に即した保健事業が実施できるほか、健康管理なども事業主と協力して積極的に行うことができます。
- ・一般保険料率、負担割合を財政状況に応じて決めることができます。
- ・健康保険組合は、それぞれの組合の実情に応じて付加給付事業を行うことができます。
- ・健康保険組合独自の体育奨励事業の補助などにより被保険者および被扶養者の体力づくりに役立てることができます。

<協会けんぽの場合>

**保険料率は平均10%
保健事業の内容は一律**

もし、ダスキン健康保険組合の保険料が協会けんぽの保険料率を恒常的に上回り、事業主が協会けんぽに加入すると判断した場合、節目健診や、健康診断の法定外項目などの保健事業は各事業主負担となり、事業主の経営状況によっては、規模・内容の縮小なども想定されます。